



めろん
目安箱



読者のみなさまからのご意見、感想、コメントをお寄せください！ QRコードもしくは info@mafga.or.jp まで。

メロン、丸い形は地球に見える？メロンのようにおいしく、その表面の網目のように
緻密なネットワークを広げる月刊情報誌をめざします！



【シリーズ】

排外主義に対抗する



共生社会の最前線としての『大阪』

～国立社会保障・人口問題研究所の是川夕さんに聞く～

1月23日、「国際交流協会ネットワークおおさか」主催の研修会に参加した。講師は是川夕氏（国立社会保障・人口問題研究所）。日本の移民をめぐる現状と課題について話を聞いた。本稿ではその内容を整理して報告する。（岩城）

急増する外国人人口

日本の外国人人口は急増しており、人口減少を補う重要な要因となっている。在留外国人数は1990年代以降増加を続け、2022年から2024年の増加数は年間35万人を超えた。「日本は外国人に選ばれない国」という見方では説明できない状況である。

なかでも永住者の増加が目立つ。日本人と同様の経済的地位を持つ永住者は年間3万人以上増え、2025年6月末時点では中長期在留外国人368万人のうち約93万人(25.3%)を占めている。一方、非正規滞在者は外国人全体の約2%にとどまる。政府は「不法滞在者ゼロプラン」を掲げているが、非正規滞在日数の平均は40日程度だそうで、これを実質的なオーバーステイ率におきかえるとほぼ「ゼロ」となるとのこと、他のOECD諸国と比べてもかなりの低水準だという。

日本人の出生率と死亡率に大きな変化がない中、外国人人口の増加は人口減少の抑制に影響を与えている。ただし外国人の割合は依然として低い。日本の外国人人口は総人口の約3%であり、OECD平均の14.7%を大きく下回る。将来推計でも2070年時点で最大15.1%にとどまるとされる。

是川氏によれば、外国籍人口が10%を超えると社会は移民に融和的になる傾向があるという。「外国人が増えると社会が崩壊する」という主張とは異なり、この割合は社会統合が進む転換点と考えられる。そのため外国人を総量規制する政策は適切ではないと指摘されていた。

日本に移民政策はないのか？

日本型社会統合の特徴

日本は移民政策を持たないといしばしば言われるが、実態は異なる。経済協力開発機構（OECD）の2024年報告によれば、日本の労働移民受け入れ数は米国、ドイツ、フランス、オーストラリア、カナダ

などに次ぐ規模である。世界的には家族移民が中心だが、日本は労働移民が中心であり、在留資格の更新に制限のない永住型の移住者の割合も高い。

日本は歴史的にも国際移動を経験してきた。戦前は北米や南米などへの移民送り出し国であり、植民地政策のもとでの移動も行われ、戦後は海外領土の喪失に伴い引き揚げや帰国政策が進められた。また、1981年の難民条約批准により「内外人平等」の原則が導入され、旧植民地出身者の社会保障制度への参加も進んだ。その後、1989年の入管法改正による日系人受け入れ、1993年の技能実習制度の開始、2008年の介護分野でのEPAなど、人手不足を背景に労働移民の受け入れが拡大してきた。

日本では教育を通じた移住と定住が進みやすい。日本版就活（＝新卒一括採用の仕組み）により、留学生も他の日本人学生と同様の就職活動を経て、未経験でも正職員に就くことが容易であるため、正職員になるためには何らかの専門的スキルが求められる欧米と比べて外国人が正規雇用になれる機会が多いことが背景にある。また、技能実習修了者の一部は帰国した後、「技術・人文知識・国際業務」の在留資格で再来日し、その後永住するケースも増えている。地方ではこの流れが顕著である。

このように日本では移民基本法がないにもかかわらず、制度の積み重ねによって結果的にゆるやかな社会統合が進んできた。欧米では家族移民や難民など権利に基づく移動が多く、失業や貧困対策が統合政策の中心となる。一方、日本では雇用契約を前提とした入国が多いため、技能形成や子どもの教育支援が重要な課題となる。歴史的経緯の違いから「欧米の轍を踏む」という議論は単純には当てはまらない。



研修会で講演する是川さん。

No.222 発行元・返還先：(公財) 箕面市国際交流協会

【賛助会員数】個人：294名 法人：23団体 (2月20日現在)

〒562-0032 箕面市小野原西5-2-36 多文化交流センター内

Tel： 072-727-6912

Fax： 072-727-6920

E-mail： info@mafga.or.jp

Web： https://mafga.or.jp



自治体が認識する外国人受け入れの現状

産経新聞が2025年に全国の自治体を対象に実施した調査では、外国人増加により地域に何らかの影響があると回答した自治体は70%に上った。そのうち76%が「良い影響と悪い影響の両方がある」と回答し、「悪い影響のみ」とした自治体は1%にとどまった。また54%の自治体が地域の存続に外国人が不可欠と回答した。理由の多くは労働力確保である。受け入れを不要とした自治体は2%にすぎなかった。

施策面では「違法行為への対処」を挙げた自治体が12.2%だったのに対し、「住民との共生推進」は85%に達した。自治体の多くは治安対策より共生施策を重視していることが分かる。

共生政策の先行事例としての大阪

是川氏は、大阪は共生政策の先進地域であると評価する。日系人受け入れを経験した浜松市などの自治体は外国人施策への理解が進んでいるが、大阪はそれ以前から共生の取り組みを進めてきた。大阪や兵庫県、神奈川県では在日コリアンの社会統合を通じて人権重視の政策が蓄積されてきた。

例えば在日の生徒の就職先を高校教員が一件ずつ開拓してきた歴史がある。こうした経験が現在の外国人施策の基盤となっている。近年外国人が増えた地域では対症療法的な対応になりやすく、政策の継続性にも課題がある。長年の経験を持つ大阪は政策の安定性という点でも優位にある。

今後は外国人市民に支えられる地域社会が、財政的に循環するシステムをどのように構築するかが重要となる。雇用先の企業からの支援体制が不可欠であり、大企業も含めた費用負担の仕組みが求められる。また労働移民だけでなく家族移民への対応も重要である。移住前から移住後までを含む包括的な支援政策が必要とされる。これらの取り組みは中央政府を待つのではなく、地方都市から先行事例を生み出していく必要がある。

まとめ

是川さんの話を聞いていると、都市部ではなく、地方で深刻化する労働者不足を解消するため、政府や財界が外国人の受け入れを積極的に進めながらも、社会への統合コストは他の先進諸国よりは出し惜しむ状況があると感じた。2025年11月26日、東京都内で全国知事会議が開かれ、「多文化共生社会の実現を目指す全国知事の共同宣言」が承認された。この宣言は、1. 多文化共生の推進、2. ルールに基づく共生と安心の確保、3. 正確で積極的な情報発信の3つの柱からなり、「正確で積極的な情報発信」の柱では、「外国人は多岐にわたる産業分野を担う人材であることに加えて、『地域の一員として社会を支える、なくてはならない存在』となる一方で、その実態が十分に伝わらず、『外国人が増えると犯罪が増える、ルールを守らない外国人が多い』などの根拠不明の情報がSNS等で見受けられる」と指摘されている。また、犯罪白書を引用し、外国人の刑法犯検挙件数は2005年をピークに、在留外国人が増加するなかにも減少傾向にあるというデータも示され、国に対して、「外国人が増加することに対する国民の不安を払拭し、正確なデータに基づく積極的な情報発信を行うよう働きかけていきます」と述べている。

現在、政府を中心に排外主義的な主張をよく耳にするが、現実とかなり乖離がみられる。そもそも法律や社会保障制度は全国共通だが、生活する上で求められるルールや社会規範などは地域によって大きく異なる中、実際に地域社会の住民とつながり、交流が広がらない限り、普段接点のない日本人が抱きがちな漠然とした不安や不公平感は消えないだろう。徹底した管理と同化教育だけでは、当事者の肌感覚と世論がますます乖離していく矛盾にどう向き合おうか。

第2部では、国際交流協会ネットワークの構成団体から、最近感じる排外的な風潮に対して、外国人から寄せられる不安の声が多く共有された。私たちに届く声は限られているが、外国人も社会の構成員として、孤立させることなく、居場所と役割を持って地域でその人らしく、安心して暮らせるような統合体制を引き続きポトムアップでつくり、大阪から積極的に発信していくことの大切さを改めて感じた。

めろん 休刊のお知らせ

箕面市国際交流協会とボランティアがもつくる月刊誌「めろん」は、2006年度4月より発行を続けてまいりましたが、昨今は編集部の人員体制が整わず、誠に残念ではありますが、次号(No.223)をもって休刊せざるを得ない状況となりました。会員の皆さま、広告を掲載していただいている皆さま、並びに読者の皆さまにはたいへん心苦しい案内とはなりますが、何卒ご理解いただけますようお願いいたします。(編集部一同)

ECCジュニアで楽しく英語を学ぼう!

小野原教室

小学1-3年生クラス 16-17時
小学4-6年生クラス 13-14時

場所：箕面市立多文化交流センター
電話番号：05071193794
メール：c_rieyama@icloud.com

we are friends!

ECCジュニア

大阪大学 × MAFGA
学生・若者が地域とつながる居場所

ひとこま

活動日時：水曜日 10:00~15:00
木曜日 11:00~16:00

対象：どなたでも
場所：大阪大学箕面キャンパス3F
(テラスと食堂の間の廊下)
祝日、年始年末はお休み
*連休などの長期休暇は水曜日のみ

チカノバ

テーマは「フード」×「アート」×「ハート」!

★ギャラリー (水~日)
10:00~21:00

★カフェ (水~日)
(comm cafe2号店)
11:00~20:30
(日曜~18:00)

※水・木・金
14:00~16:00はクローズ

北大阪急行線・箕面船場阪大前駅 改札階(地下3階)
(〒562-0035 大阪府箕面市船場東 3-7-35 箕面市立市民ギャラリー)
072-734-8711 (ギャラリー) / 072-734-8722 (カフェ)

コラム

アートの小箱

Vol. 21

「文化・芸術の守り手」

昨年の年の瀬に、いいお葬式に参列してきた。島田誠さん。神戸の中央区山本通にある老舗ギャラリー、「ギャラリー島田」の社長。享年83歳。県庁前の神戸栄光教会には三百人を超える人たちが駆け付けた。教会内部は、静かな満たされた空気が充満していた。仕事の付き合いできている人はいないと思わせるような温かみを感じる。誰もが、自分と島田さんとのかかわりを大切に思いこの場に集まっていた。そう思わせる参列者の表情だった。ギャラリー島田は、私が20年近く前に神戸の灘区に住んでいた時に、近所だったのでよく通っていた。一般的に、「アート」や「ギャラリー」というと腰が引ける印象を持つ方もいるかもしれないが、ギャラリー島田は私のような、いかにも絵を購入しなさそうな相手に対しても温かく迎え入れてくださった(絵画は安価なものもあるが、多くは気安く手が出しにくい買い物ではある)。

亡くなってから、あらためて島田さんの著書*を読んできた。元町で、大正時代から続く「海文堂書店」という海や船舶など海事関連書の専門の書店を引き継がれていた(そして1978年社長室を改造してギャラリーは始まった)。阪神大震災を機に、神戸の街の「文化」を守る活動をされてきたこと、同時に市民主導のまちづくりに尽力されてきたことなどを読み直してみて、あらためて思い出した。そして、日本社会を覆う経済至上主義に強い危機感を持ち、精神的な豊かさに重きを置く社会を構築しようと行動された。行政が旗を振るまちづくりや復興に時に強く自らの主張を示して、市民の手で街をつくる動きを後押しされてきた。

「文化・芸術」を守るとはどういうことだろう。「文化・芸術」は、目には見えないものでもある。絵や彫刻、演劇は目に見えるが、ただ絵を所有すれば、彫刻を飾れば、演劇を観れば「文化・芸術」を享受したといえるかと言えばそうとはいえない。なのに、「モノ」に重きを置く価値観は、本当の「文化・芸術」の持つ力…時間空間を越えて心の交流をもたらすものを妨げている。島田さんは、そんな風潮に抵抗し、人の想いとつながりを第一にした芸術のあり方を大切にされた。同じ絵でも、画家の人生やその背景に敬意を払い、絵を囲む人たちのことに思いを馳せた。そんな島田さんだからこそ、あの日お葬式に集まった人たちも、ただの参列者ではなく、想いを持った人たちだったと思う。文化・芸術の守り手としての島田さんの、その想いをつないでいくのは、あの日集まった私たちだと、教会にいた誰もが思っていたに違いない。

国際交流協会の活動も、文化芸術の在り方と似通っている面がある。目に見えない、「多様な人との交流」は、ただイベントをすれば、人が集まれば達成できるものではない。島田さんがされきたように、目に見えないものの中身を吟味して、よいものを丁寧に紡いでいきたいと思う。(野崎)

*「^{こうもり}蝙蝠、赤号をわたる-アート・エイド・神戸の現場から」神戸新聞総合印刷出版
震災後、「復興」が、「経済復興」だけを指す風潮に警鐘を鳴らして、市民の手による芸術と文化の復興を目指した記録の書。
今の社会にも通じる島田さんの問題意識や葛藤が描かれている。



唐木幸子バレエスタジオ

やさしいバレエの基本動作を正しく身につけて
美しい姿勢と健康を保ちましょう

「ロシア国立ペルミンバレエ学校日本校」のバレエ教授法(Diploma)取得



唐木幸子バレエスタジオ 検索



TEL 072-721-2576

〒562-0041 箕面市桜 4-1-24 阪急牧落駅前

(公社) 日本バレエ協会会員・AODT会員



国際交流協会 (MAFGA) からのお知らせ



2026年度開講・語学講座 受講者募集!

【国際理解のための語学講座】英会話 (7講座)・イタリア語 (2講座)・子ども向け英会話 (1講座)
開催場所が、多文化交流センター・西南生涯学習センター・船場生涯学習センターの講座です。



開催場所によって、受講料が異なります。
それぞれの QR コードから、
詳細をご確認ください。

【チカノバで開催する語学講座】英会話 (2講座)・中国語 (2講座)
開催場所が、市民ギャラリー「チカノバ」の講座です。



【両プログラム共通】所定の人数に達しない場合は開講しません。申込み多数の場合は先着順となります。受講可否は4月初旬にメールで連絡します。受講の案内メールにしたがって、各期末までの受講料をまとめてお支払いください。

<p>講座</p> <p>3/12-19-26 (木) 13:30-15:00</p>	<p>アラビア語で話してみよう</p> <p>世界で3番目に多くの国と地域で使用されている言語・アラビア語の文字を覚えて、アラビア語での日常会話を学んでみよう。初心者大歓迎! ※全3回受講を基本とします (欠席の場合も参加費は変わりません) ◎ ムゴ (ペドロセヤン・ムグルディチ)</p>	<p>定員: 10名 (申込先着順) 場所: 市民ギャラリー「チカノバ」 参加費: 10,000円 (全3回) 申込み: 右記 QR コードから</p>	 申込み
<p>報告会</p> <p>3/14 (土) 14:30-16:30</p>	<p>国境なき医師団活動報告会 知ること変わる未来～南スーダンの今～</p> <p>今回再度の南スーダンでの赴任期間をを終えて帰国された講師に、国境なき医師団の手術室で経験されたこと、日本国内で報道されることのない現地の状況や現在の世界情勢について聞きます。◎佐藤真史 (国境なき医師団)</p>	<p>場所: comm cafe 参加費: ワンドリンク制 定員: 20名 申込み: QR コードから</p>	 申込み
<p>読書会</p> <p>3/15 (日) 14:00-16:00</p>	<p>Sunday Book Review</p> <p>1930年代の米国が舞台の E.B. ホワイト著『Charlotte's Web』を読みます。毎月、第三日曜開催。 ◎ スミス マデリン (箕面市立南小学校 ALT)</p>	<p>場所: 多文化交流センター 参加費: 無料 (別途、参加者・講師ドリンク代等 600円程度) 申込み: 072-727-6912</p>	<p>TEL で 申込み</p>
<p>キューズリビング</p> <p>3/25 (水) ① 10:30-12:00 ② 13:30-15:00</p>	<p>食でつながる、このひと、この世界</p> <p>地域で暮らす外国人市民を講師に迎え、食をテーマに文化や講師の経験を紹介します。今回は、講師の出身地であるイランのお菓子やお茶を紹介します。 ◎ ジェイ・メヌシュ</p>	<p>場所: キューズリビング (みのおキューズモール) 参加費: 550円 (要申込) 定員: 各回5名 申込み: QR コードから</p>	 申込み
<p>ワークショップ</p> <p>3/28 (土) ① 13:30-15:00 ② 15:30-17:00</p>	<p>はじめての書道ワークショップ</p> <p>書道が初めてでも、日本語が母語でなくても大丈夫! 筆の持ち方から、線の書き方まで、一緒に丁寧に指導します。色紙に好きな字や言葉を書いて、記念に持ち帰ることができます。 ◎ さくら書き方教室のお</p>	<p>定員: 各8名 (申込先着順) 場所: 市民ギャラリー「チカノバ」 参加費: 2,200円 (材料費込み) 申込み: 右記 QR コードから *汚れても良い服装でお越しください</p>	 申込み

賛助会員 更新手続きにつきまして

賛助会員 (都度会員) の更新手続きは、4月1日以降にお願いします。なお、クレジットカード自動引き落とし (更新手続きが不要) が可能な「継続会員」での手続きもできますので、ぜひご利用ください。

【問合せ】(公財) 箕面市国際交流協会 (MAFGA) メール: kaiin@mafga.or.jp TEL: 072-727-6912



KIMONO CHALLENGER 着物教室

初めてでも大丈夫! Let's enjoy wearing Kimono!

初心者向けの着付け教室を始めます

基本の着付けから学べます

海外の方も大歓迎! 簡単な英語対応可

講師は着付け技能士1級 (国家試験) 取得

お問い合わせ anitomo23@outlook.jp



CERES_KIMONO

インスタもあります!



他団体からのお知らせ

問合せ・申込みはそれぞれの団体へお願いします。

<p>ワークショップ</p> <p>① 3/7 (土) 14:00-16:00</p> <p>② 3/15 (日) 10:00-13:00 14:00-17:00</p> <p>③ 3/28 (土) 13:30-15:00</p>	<p>まほひカフェ</p> <p>① 「みんなの手話講座」 ② 「仏師が教える周知ワークショップ」 ③ 「タイにある日本“風”施設のご紹介」</p> <p>多様な講師をお迎えし、生きたまほひを一緒につくりまします。 ①手話を身近に感じられる体験を通して、一緒に学びを深めまします。◎吉田花奈 (医療従事者) ◎小谷麗子 (豊能障害者労働センター) ◎仏像以外にも動物や小物など自由な題材で教えていただけます。◎真野明日人 (仏像彫刻師) ◎近年、タイで人気の日本がテーマとなった観光施設についてタイからの留学生に紹介してもらいます。◎イッサラー (大学生) ◎タモンナット (大学生)</p>	<p>定員：① 10名②各 10名③ 30名 参加費：① 1,000円 (小学生以下 500円) ② 無料 ③ フンドリンク制</p> <p>場所：らいとびあ 21 申込み：右記 QR コードから 問合せ：072-722-7400 (らいとびあ)</p>	 申込み
<p>イベント</p> <p>3/14-15(土-日) 10:00-19:30</p>	<p>遊牧民ひろば - 音と声と歌、そして謡 -</p> <p>チカノバで好評を博している「遊牧民ひろば」が3月にも帰ってきます！馬頭琴体験、写真展、演奏会など、盛りだくさんでお届けします。 *演奏会「遊牧民の祈り」(要予約) …各日 12:00-13:30、17:00-18:30</p>	<p>定員：なし (演奏会…30名) 場所：市民ギャラリー「チカノバ」 参加費：無料 (演奏会…3,000円※) ※中学生無料、高・大生 1,500円 申込み：不要 (演奏会…右記 QR コードから)</p>	 演奏会 申込み
<p>展覧会</p> <p>3/18-22(水-日) 10:00-19:00 最終日 -17:00</p>	<p>細川知良 コラージュフォトアート展</p> <p>箕面市在住のアーティストによるコラージュフォトアート展です。アート作品を背景にコンサートやミニライブもあります。 *クラシックギター、マンドリンによるコンサート…3/20 (金) 18:00- *ミニライブ…3/21 (土) 17:30- いずれも入場無料</p>	<p>定員：なし 場所：市民ギャラリー「チカノバ」 参加費：無料 申込み：不要</p>	<p>申込不要</p>
<p>セミナー</p> <p>毎月第三木曜日 3/19 (木) 19:00-20:00</p>	<p>マンズリー多文化サロン イラン編</p> <p>「なぜイラン人はおしゃべりなのか？」</p> <p>大阪大学の教員が、諸外国・諸地域の文化や生活などを紹介。 *オンライン (Zoom) でも参加可能 (HP から要事前申込み) ◎ ジェイベヘナム (大阪大学 准教授)</p>	<p>参加費：無料 場所：大阪大学箕面キャンパス 1F 大講義室 申込み：不要 (会場参加) 外国語学部 HP から (Zoom) 主催：大阪大学外国語学部 申込み・問合せ：072-730-5013</p>	 Zoom 参加 申込み
<p>イベント</p> <p>3/26 (木) 10:00-12:00</p>	<p>図書館たほいやバトル</p> <p>辞書と発想力とウソとホントを見抜く楽しいゲーム「図書館たほいや」。友達同士のペア参加も OK、もちろんソロ参加も大歓迎！みんなでワイワイ楽しみましょう♪ ◎ 高倉 暁大 (日本図書館協会認定司書/ゲーム司書) ほか</p>	<p>対象：中学生以上 定員：16名 (ペアは1名カウント) 参加費：無料 場所：船場生涯学習センター 510 申込み：右記 QR コードから 問合せ：072-730-5333</p>	 申込み
<p>セミナー</p> <p>3/29 (日) 14:30-15:30</p>	<p>ネパール探究〈探求+研究〉—女性たちのフィールドワーク</p> <p>ネパールを旅する「探求家」と調査する「研究者」—ネパールというフィールドで何を目にして、どのようなことを感じているのか。ともに女性である講師それぞれの視点から、そこに住む人びとの暮らしやフィールドワークについて考える。 ◎ 工藤さくら (国立民族学博物館特任助教) ◎ 稲葉香 (美容師・ドルボ探求家・写真家)</p>	<p>定員：着席 40 (立ち見可) 参加費：無料 (要別途、展示観覧券) 場所：国立民族学博物館 本館展示場 (ナビひろば) 申込み：不要 問合せ：06-6878-8210 (国立民族学博物館博物館事業係)</p>	 イベント 詳細

coupe de Minami スクール coupe de MINAMI 南プロカッティング研究所

町屋で楽しく洋服をつくってみませんか？




ボディに布を直接
のせて服をつくって
みましょう！
(立体裁断)

南正枝 プロフィール (略歴)

昭和42～45年 フランス・パリの洋裁学校にて立体裁断、デザイン等を修得

昭和45～47年 カネボウ Christian Dior アトリエでデザイナー

昭和47年以降 大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします！ ◆パターンや立体裁断も教えます。 ◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください！

●問合せ：〒562-0012 箕面市白島2-2-30 電話 / FAX 072 (721) 4151
E-mail info@coupe-de-minami.com URL http://www.coupe-de-minami.com

3月
March

comm cafe ランチカレンダー

コム カフェ

こちらは、多文化交流センター(小野原)のコムカフェ1号店のメニューです

- ベジタリアン、ハラール、アレルギー対応については、カフェのスタッフまでお気軽にお尋ねください。
- メニューやシェフは変わることもあります。また急きよ、協会主催事業により貸切になることもあります。
- 詳細は、Facebook/Instagram をご覧ください。



ホームページ



Facebook



Instagram



AirPAY を導入しました!

クレジット決済、各種電子決済、QRコード決済がご利用いただけます。

火・木～土 9:30-11:30 カフェタイム
11:30-14:00 日替わりランチ (1,100円)
14:00-17:00 カフェタイム

日・祝日 9:30-17:00 カフェタイム

カフェタイムはスナック・ドリンクを提供します

おしらせ

2025年度のcomm cafeクーポン(青色)の利用は、2026年3月31日(火)までです! お手元にお持ちの方は、期間内のご利用をお忘れなく。

☒… スナックの日

📍… カフェで開催するイベント

げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どうようび	にちようび
2 休館日	3 コフさん 《タイ》	4 店休日	5 山口さん 《中国》	6 ☒ MAFGA スナック	7 ☒ MAFGA スナック	1/8 ☒ MAFGA スナック
9 休館日	10 ☒ MAFGA スナック	11 店休日	12 山口さん 《中国》	13 チャレンジ カフェ! ヘニさん 《ハンガリー》	14 テイさん 《ベトナム》 📍 知ることで変わる未来 (14:30-16:30)	15 ☒ MAFGA スナック
16 休館日	17 ☒ MAFGA スナック	18 店休日	19 ☒ MAFGA スナック	20 祝日 ☒ MAFGA スナック	21 貸切のため、 カフェはお休みです	22 ☒ MAFGA スナック
23 休館日	24 ファルザナさん 《バングラデシュ》 HALAL	25 店休日	26 ヘバさん 《シリア》 HALAL	27 洪さん 《コリア》	28 テイさん 《ベトナム》	29 ☒ MAFGA スナック
30 休館日	31 ファルザナさん 《バングラデシュ》 HALAL					

「めろん」編集スタッフ

【ボランティア】井嶋眞佐子、荻野克彦、黒田アリサ、崔聖子、鳥羽山良平、山下三千世、湯川あさ子、鷺尾則昭
【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、坂口ピーター、野崎ターラー